

ごみちゃんにけーしょん

みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

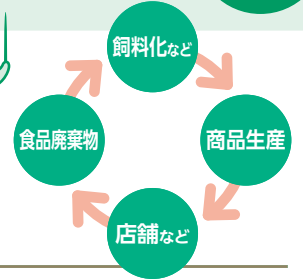
vol. 18

“へらす”“わかる”で 目指せ一歩先行く ごみゼロ事業所!!

優良事業所訪問!



食品廃棄物のリサイクルループとは…



平成26年度「ごみ減量・3R活動優良事業所」に京都市が認定した企業の中から、食品廃棄物のリサイクルに取り組んでいる2つの会社を訪問しました。

スーパーやレストランなどから出た食べ残しや売れ残りを肥料・飼料などにして、農業生産者が農畜産物を生産し、それを再び事業者が買い入れる仕組みのことをいいます。



イズミヤ株式会社 デリー カナート 桂坂店



桂坂店は、系列店の中で一番最初に廃油や魚あらの飼料化・肥料化など、食品廃棄物のリサイクルに取り組んできました。平成26年5月からは、お取引先と新たに連携をして、排出された食品廃棄物を再生利用事業者を持ち込み、その飼料(餌)で育てた鶏の卵を店内で販売するなど、理想的なリサイクルループを実現されています。桂坂店次長の村井雅次さんは、取組について「国から“再生利用事業計画”の認定を受けています。今後もこの取組を各店で広げていきたいです」と、笑顔で語っていただきました。



▲調理後、不要部分はまとめられて業者へ



▲桂坂店次長の村井雅次さん



▲鳥取県の養鶏場で餌になり、卵を桂坂店で販売



▲食品廃棄物は、この機械で堆肥となります。



なかをのぞくと…
かきまぜて発酵させていきます



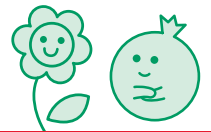
▲業務部門 業務マネージャーの坂本和祐さん(写真右側)とスチュワード主任の若城泰典さん(写真左側)



▶実際に販売されている、たい肥



エクシブ京都 八瀬離宮



同ホテルでは、平成18年開業当時から生ごみ処理機を導入し、ISO14001の一環として環境活動に取り組んできました。生ごみを処理した後(1日約300kg)は、約1ヵ月間ためてから専門業者に引き渡し、肥料化されます。業務部門業務マネージャーの坂本和祐さんは、「生ごみが出れば全て機械に入れられるわけではなく、細かく分別をしなければいけません。普段から計量もしているので減量への意識も高くなります。今後も地球に優しいエコな活動として、継続していきます」と抱負を聞かせていただきました。

◆京都環境事業協同組合からのお知らせ

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。
「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています!
★お客様相談窓口を、ぜひご利用ください!

相談窓口 TEL. 691-5517
受付時間 月～金 13:00～17:00



気軽に電話してね

◆ごみ削減に役立つ豆知識

Gommunication Q&A

この中で、リサイクルできない紙はどれでしょう?

- ①レシート
- ②カーボン紙
- ③食べ物や油で汚れた紙

※答えは裏面にあります



事業所で分別されたプラスチックはどうなるの？②

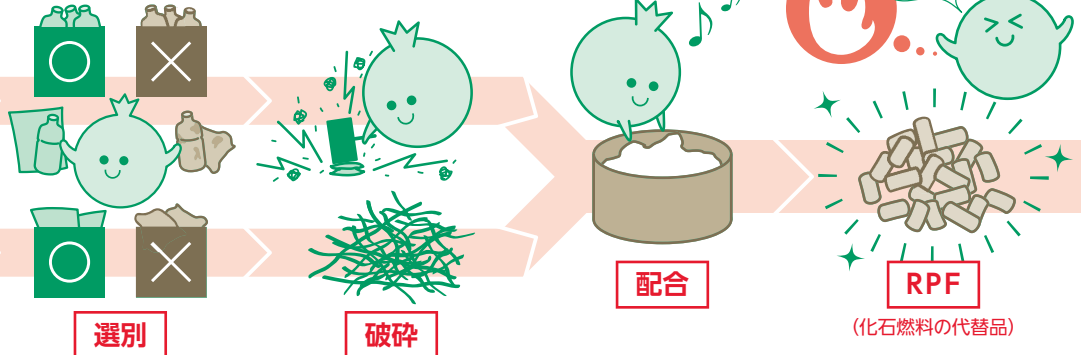
RPF

RPFとは、マテリアルリサイクルが困難な紙類及び廃プラスチック類を混ぜ合わせた固形燃料のことです。いろいろな種類の樹脂が混ざっているプラスチックは、RPF化が適しており、石炭やコークスなど化石燃料の代替品として、製紙会社、鉄鋼会社、石灰会社など多くの産業で有効利用されています。

RPF化の流れ

プラスチック

紙など



参考：一般社団法人日本RPF工業会HP

※RPFとは、Refuse Paper & Plastic Fuel の略称で、サーマルリサイクル(熱エネルギー化)の一種です。

ごみちゃんねる

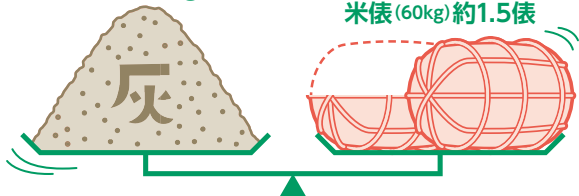
焼却後も灰になって残るごみ

事業ごみ 1t を燃やしたときの灰の量

約1割も灰として残ってしまう！

93.4kg

米俵(60kg)約1.5俵



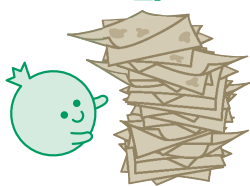
※平成24年度 清掃施設に係る環境調査報告書 5年間平均データより

事業ごみを燃やしても約1割は灰として残ります。京都市では、その焼却灰を東部山間埋立処分地や大阪湾広域臨海環境整備センターで埋立処分していますが、埋立処分地の容量にも限りがあります。資源は有効に活用し、ごみを出さない「リデュース」に取り組んでみましょう。

GOMI

Communication Q&Aの答え

答え：全部



特殊な加工をしている紙(感熱紙…レシートやFAX用紙、カーボン紙…宅配便の伝票など、防水加工紙…カップめん容器など)や、汚れている紙、臭いがついている紙(線香や石鹸の箱)は燃やすごみに出しましょう。リサイクルできる紙は古紙としてお出してください。

Column

京の知恵

京都の各大学が行うごみ減量活動をリレー形式で紹介!

環境から芸術をとらえる工夫を 京都精華大学

平成25年度の産廃処理・3R等優良事業場にも認定されている京都精華大学。同大学では平成12年に西日本初の大学によるISO14001認証を取得し、一昨年度より認証登録を終了して、現在は独自の環境マネジメントシステムを運用しています。



▲ごみ箱の分別表示も学生のデザインでリニューアル

食堂では地産地消を掲げ、地元野菜を使用してCO₂の削減および廃物のリサイクルや、水切りの徹底をして生ごみの減量も継続的に行っています。減量対策として、野菜屑は学内で飼育している動物の餌に使用し、エコメニュー“出し昆布とかつお節のふりかけ”を作るなど積極的に生ごみ減量に取り組んでいます。適量販売を心がけ、ハーフサイズのメニューを取り入れ、食べ残しを減らすようにも努めています。



▲人気のハーフサイズメニュー(右)。左は通常サイズ

また今年度からの取組として、購買部(画箋堂)では容器包装のごみを減らすため、絵の具を量り売りにしています。売場ではエコ関連商品コーナーを常設するなど、学生が環境問題を自然と意識できるよう環境を整えています。



▲絵の具の量り売りは業者さんの協力があつてこそ

環境施設課の近藤孝枝さんは、「常に学生が興味を持ってくれそうな取組を考えて、快適なキャンパスライフのために、できることを続けていきたいです」と、今後の抱負を語って下さいました。



◀環境施設課の近藤孝枝さん(右)と食堂(株不二家商事)勤務の藤本定子さん(左)

※この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

発行：京都市環境政策局ごみ減量推進課
京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8階
TEL:075-213-4930 FAX:075-213-0453

下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業者許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

京都市 一般廃棄物許可業者 検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyoo/page/0000001025.html>

